



人と自然が育む、循環型の未来へ

大久野通信

vol.35

いよいよ夏本番

梅雨が明け、いよいよ本格的な夏となりました。

今年も猛暑日が続くそうですが、異常ではなくこれが普通になりつつあります。炎天下では長時間作業せず小まめに休息をとる、水分と塩分補給するといった熱中症予防は当然ですが、やはりこの時期は危険な時間帯を避けるのがいちばん。朝の涼しい時間帯に作業をして昼間は木陰で昼寝をする、東南アジアでありそうな光景がこれから日本の新常識になりますね。

INDEX

01 涼しいうちに

02 どうしたトウモロコシ！

03 今後の展望



01

涼しいうちに

株式会社水俣アールビーエス(弊社子会社)では、独自の水浄化技術「自然浄化法リアクターシステム®」で地域のし尿処理を行っています。この処理水に植物の成長を促す成分がありそうなので、実際の畑でも試すべく梅雨末期で涼しい7月上旬に畑作りを決行しました。これまでに確立した害獣対策も完璧に施し、10月頃イチゴの苗を植えて実証を行います。



土起こし前



害獣対策し完成した畑



02

どうしたトウモロコシ！

昨年RBSゴールドと竹炭の組み合わせで豊作だったトウモロコシに異変が。

更なる豊作を期待して竹粉も散布したのですが、発酵過程で窒素を消費するらしく、RBSゴールドの窒素成分が消費されて肥料のバランスが崩れてしまった様です。発芽当初の元気は成長と共に徐々に失速、実を支えられない株も見られるようになり、残念な結果となりました。この失敗でまた賢くなりました。



昨年に比べ明らかに成長不良



失敗作



03

今後の展望

昨年に続き、日本下水道協会主催の「下水道展'26」(8月4日～7日開催)に出展します。

独自の水浄化技術「自然浄化法リアクターシステム®」を知って頂くことが主目的にですが、今回は範囲を広げて生業であるプラント建設の近況なども紹介することになっています。また、大久野倶楽部の取り組みもパネルで展示、RBSゴールドや竹炭の無料配布も行います。未来を担う子供たちと家庭菜園を楽しみながら地球温暖化抑制を意識する、このコンセプトに共感頂ける方を一人でも増やしたいと大久野倶楽部は考えています。